



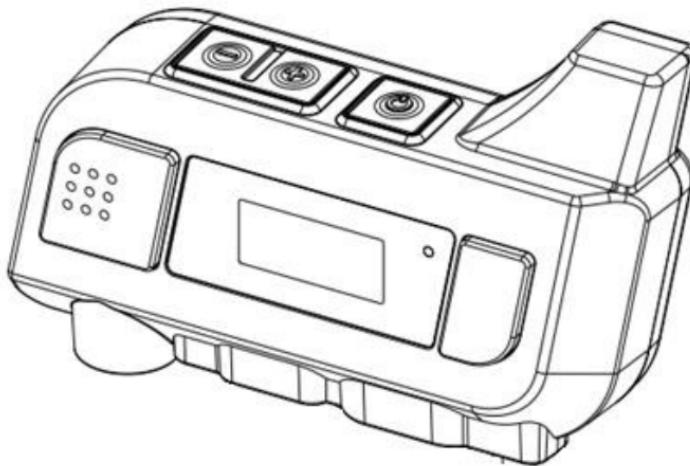
デジタル複数同時通話無線機

取扱説明書

BRIDGECOM X10 Compact

ブリッジコム エックステン コンパクト

BM-X10CP



安全のための注意事項



火災や人身事故防止のため、電気製品は注意事項を必ずお守下さい。

万が一、変な音・においがしたり煙が出たら、

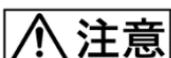
1. 電源を切る
2. 火気から遠ざける
3. 問い合わせる

* お問い合わせ先は本書最後に記載しております。



万が一、電池の液漏れが起きた場合。

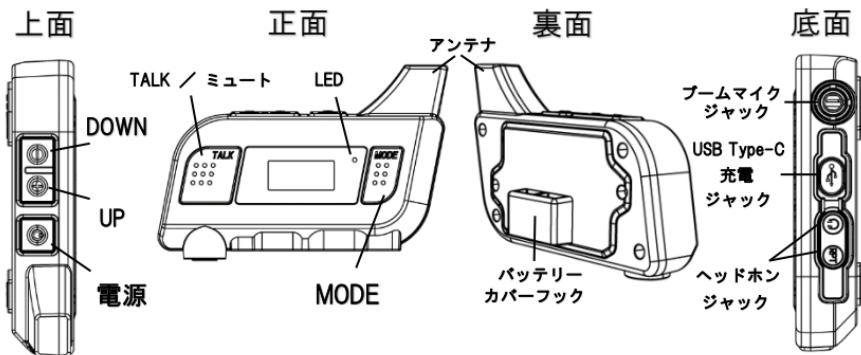
- ・ すぐに火気から遠ざけて下さい。漏れた液や気体に引火して発火、破裂するおそれがあります。
- ・ 液が目に入った場合は、擦らず、すぐにきれいな水で充分に洗い、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が口に入った場合は、すぐに口を洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が身体や衣服についた時は、水でよく洗い流して下さい。



必ずお守り下さい。

- ・ 高温・低温の場所に長時間放置しないで下さい。
- ・ 本製品は端子のゴム栓をしっかりと閉めた状態で完全防水となります。
- ・ 端子のゴム栓は、配線接続時以外は必ず栓をして下さい。ゴム栓がしっかりと閉まっておらず、端子から水や液が入り、水没させますと故障の原因になります。

本体構造



付属品

- ・充電ケーブル 1本
- ・取扱説明書（本書）

液晶画面



図 1

電源を入れて最初の表示



図 2

MODE を一回押した表示

※ 最初の表示で MODE を押すと図 2 が表示され、ID→サイドトーン→マイク感度→VOX の順で設定が確認できます。

各種設定・使用における注意事項

1. 通信中にマスター設定された本機を操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され通話できなくなります。
通信中の設定操作はお控え下さい。
また、その他の本機についても通信中に設定操作をすると、他機との通信が切断され、同グループ内の機器と通話が一時的にできなくなります。
2. 本機同士は必ず 10 cm 以上離してご使用下さい。近づき過ぎると干渉してしまい、ブツブツと途切れる症状が出ることがあります。
3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓が、すべてしっかりと閉まった状態において防水性能 IPX4 が適合しております。
閉まっていない状態で内部に液体・粉塵等が混入し、損傷が起こった場合は保証対象外となります。

使用の前に

通信モードについて

本機には 2 種類の通信モードがあります。

それぞれのモードには特長がございますので、使用現場や状況に合わせて使い分けて設定しご使用下さい。

同じグループ内で 2 つのモードを混在させて同時に使用することはできません。

PH モード：中継接続モード（出荷時の初期設定）

マスターID00 からの電波を、サブマスターID01 が中継する設定です。

建物や壁、フロア違い、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ現場に適しています。

ハンズフリー同時通話は、最大 10 台の間で通話可能です。

PS モード：スプレッドモード

マスターID00 をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定です。

ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。

PH モードに比べてマスターID00 と子機 ID01～ID09 間の通話距離がおよそ 1.5 倍に伸びます。

ハンズフリー同時通話は、最大 9 台の間で通話可能です。

※詳しい設定については「10.通信モード切替」を参照下さい。

使用方法

1. 電源オン／オフ

オン：電源ボタンを数秒間長押しし、液晶画面にデジタル表示がされたら、電源ボタンから指を離して下さい。
LED が青く点滅し図 1 の状態になります。

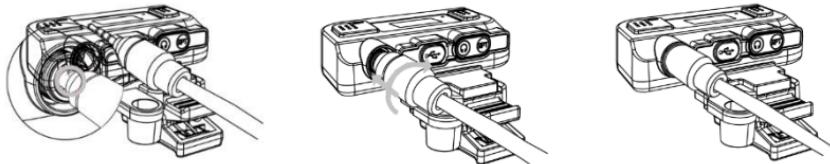
オフ：電源ボタンを数秒間長押しして下さい。液晶画面に OFF が表示され LED が消灯し、電源がオフになります。

2. ヘッドホン接続 ※オプション別売品

ヘッドホンジャックのゴム栓を外し、ヘッドホンのプラグを接続して下さい。

3. 専用ブームマイク接続 ※オプション別売品

ブームマイクジャックのキャップを取り、専用ブームマイクのプラグを下図のように挿し込んで接続して下さい。
ジャックの溝に専用ブームマイクの凸部を合わせて差し込み、可動式のアルミ製ブームネジを置くまでねじ込んで下さい。



専用ブームマイク

※ ヘッドホンジャックにマイク付きヘッドホンを接続して使用される場合は、専用ブームマイクは必要ありません。

4. 専用ヘルメット取付クリップ ※オプション別売品
バッテリーカバーフックに専用ヘルメット取付クリップを下図のように装着することでヘルメットに装着できます。



専用ヘルメット取付クリップ

5. グループ設定 - 40 グループの設定が可能

MODE を数秒間長押しすると液晶画面に図 3 が表示され、CH が点滅します。UP/DOWN を押して 00～39 を選択して下さい。
設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 3

※ 同時通話する機器のグループ番号は、同じ番号に合わせて下さい。

6. ID 設定 - 通話番号の振り分け

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を一回押すと図 4 が表示され、ID が点滅します。UP/DOWN を押して、PH モードの場合は 00～10 を選択し、PS モードの場合は 00～09 を選択して下さい。



図 4

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。

1. ID00 がマスターとなり、マスターを基点に同じグループ内の他機と接続します。
2. PH モードの場合 ID01 はサブマスターとなり、マスターの中継役にもなります。
3. PH モードの場合 ID02~10、PS モードの場合 ID01~09 は子機となります。
4. PH モードの場合 ID09、PS モードの場合 ID08 は何台でも設定することができ、PH モードの場合 ID00~08 と、PS モードの場合は ID00~07 と同時通話が可能となります。
5. PH モードの場合 ID10、PS モードの場合 ID09 は、何台でも設定することができますが、傍聴のみとなります。



ID00 マスター



ID00 以外

図 5

- ※ 1 グループにつき、必ず 1 台 ID00 のマスター設定をしないと、同じグループ内での通話ができません。
- ※ ID は PH モードの場合 00~08、PS モードの場合 00~07 の番号をそれぞれ 1 台ずつ設定して下さい。同じグループ内において ID が重複すると正常に通話できません。(但し、PH モードの場合 ID09 と ID10、PS モードの場合 ID08 と ID09 は除きます。)
- ※ ID の設定は連番である必要はありません。
- ※ PH モードの場合 ID09、PS モードの場合 ID08 は通話できるのは TALK 状態の 1 機のみとなります。

7. サイドトーン設定 - 自分の音声のオン／オフ

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を二回押すと図 6 が表示され、S0 が点滅します。UP/DOWN を押して、サイドトーンをオンは S0 を選択し、オフは SF を選択して下さい。サイドトーンをオンにすると、通話の際の自分の声がヘッドホンやイヤホンから聞こえます。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 6

8. マイク感度設定 - 通話する相手への聞こえ方の調整

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を三回押すと図 7 が表示され、C1 が点滅します。UP/DOWN を押して 1~8 を選択して下さい。

C1 が最も感度が低く、C8 が最も感度が高くなります。

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。



図 7

※ マイク感度を高くすると、多少口元からマイクが離れても声を拾いますが、感度が高過ぎることにより音割れしてしまうことがありますので、使用環境に合わせて調整して下さい。

9. セキュリティコード設定 - 傍受防止機能

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を四回押すと図 8 が表示され、設定値の 0 が点滅します。UP/DOWN を押してコードを選択して下さい。グループ内で同じ 4 衔の英数字を設定しなければ、通信距離内、同じ機種、同じグループであっても通話はできません。また傍受されることもありません。

コードは 0~9、A、b、C、d、E、F の 16 英数字から選択できます。

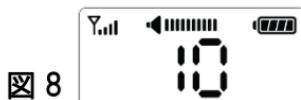


図 8

MODE を一回押す度に、左の数字は 1→2→3→4 となります。

左の数字は番号の位置、右の数字は設定コードの値になります。



図 9

例として、セキュリティコードを「A2b5」にした際は、図 10 の表示がされます。



図 10

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。

※ 同じグループ内では、設定コードを同じ英数字に合せて下さい。

※ 初期設定は、「0000」に設定されています。

10. ローミング選択 - PH 設定での受信選択

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を八回押すと図 11 が表示され、H0 が点滅します。UP/DOWN を押して図 12 からローミングのタイプを選択して下さい。



図 11

H0	子機設定された本機がマスターとサブマスターの最適な電波を自動受信
H1	子機設定された本機が MODE を押す度に、マスターとサブマスターの電波を手動切替で受信
H2	子機設定された本機がマスターの電波のみを受信
H3	子機設定された本機がサブマスターの電波のみを受信

図 12

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。

※ PS モードの場合、ローミング選択はありません。

※ マスターとサブマスターに設定された本機には関係ありません。

11. 通信モード切替 - PH モードと PS モード

MODE を数秒間長押しし CH が点滅したら、再度 MODE を PH モードの場合は九回、PS モードの場合は八回押すと図 13、14 がそれぞれ表示され、PH もしくは PS が点滅します。UP/DOWN を押して通信モードを選択して下さい。



図 13



図 14

設定後、MODE を長押しすると確定され、電源がオフになります。

PH モード：中継接続 モード(出荷時の初期設定)

マスターID00 からの電波を、サブマスターID01 が中継する設定です。

建物や壁、フロア違い、通話者間に障害物があるなど、入り組んだ現場に適しています。

ハンズフリー同時通話は、最大 10 台の間で通話可能です。

ID00～ID09 は同時通話、ID10 は傍聴のみとなります。

PS モード：スプレッドモード

マスターID00 をグループの中央付近に配置することにより、ワイドに安定的な接続が可能な設定です。

ワンフロアや比較的近いエリアでの使用に適しています。

PH モードに比べてマスターID00 と子機 ID01～ID09 間の通話距離がおよそ 1.5 倍に伸びます。

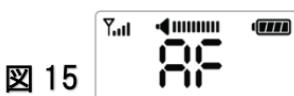
ハンズフリー同時通話は、最大 9 台の間で通話可能です。

ID00～ID08 は同時通話、ID09 は傍聴のみとなります。

※ 2つのモードを混在させて同時に使用することはできません。

※ 通信モード切替は、他の設定変更とは異なり、設定変更後 MODE を長押しすると確定され、電源がオフになります。再び電源を入れ直すと変更した通信モードに設定されます。

12. VOX 機能 - マイクが音を拾うと TALK がオンになる機能 MODE を数秒間長押しし、CH が点滅したら、再度 MODE を PH モードの場合は十回、PS モードの場合は九回押すと図 15 が表示され、AF が点滅します。UP/DOWN を押して VOX 機能を選択して下さい。



VOX とは「Voice Operated EXchange」の略で、VOX 機能をオンに設定すると、ある一定の声や音にマイクが自動的に反応し通話が可能となります。設定した一定のレベルに達しない声や音は、マイクは自動的に拾いません。

マイクが拾う声や音のレベルは、設定により調整が可能です。

AF	VOX 機能オフ。常に TALK オン状態
A0～A4	A0 が最も感度が高く、A4 が最も感度が低い

図 16



図 17

設定後、MODE を長押しすると確定され、最初の画面に戻ります。

マイクが声や音を拾うと TALK オンとなりマイクアイコン(マイク)が点灯し、無音になると 5 秒後にマイクアイコンが消え、TALK オフとなります。



TALK オン



図 18

- ※ VOX 機能は、マイクが拾う声や音に反応して自動的に TALK スイッチが入るため、声や音の頭切れがあります。
- ※ PH モードの場合 ID09、PS モードの場合 ID08 は VOX 機能をオンに設定しても TALK を長押ししないと TALK オンになりません。

13. 音量設定

UP/DOWN を押して音量調整して下さい。音量は 0~5 段階です。



～



図 19

14. 通話音

下記の通知音で状態をお知らせします。

「プブ」 - TALK オンにした時

通話距離範囲に戻った時

「プブブ」 - TALK オフを自分から外した時

通話距離範囲から外れた時

※VOX 機能オンの場合は、通知音は鳴りません。

15. 通話方法 - TALK オン／オフ

本機の電源を入れ、ヘッドホンやマイク、イヤホンなどを接続し、グループと ID の設定が完了すると通話可能となります。

PH モードの場合 ID00～08、PS モードの場合 ID00～07

通話／MUTE を長押しすると  TALK が消え、TALK オフになり傍聴のみとなります。再び TALK／MUTE を長押しすると  TALK が表示され、TALK オンになり通話ができます。

通話ボタン付のマイクの使用については、通話ボタンを長押しすることで TALK オン、または TALK オフになります。



TALK オン



TALK オフ

図 20

PH モードの場合 ID09、PS モードの場合 ID08

何台でも設定ができ、設定された本機が同時通話できるのは、TALK／MUTE を長押しし TALK オンとなった 1 機のみとなり、その他は傍聴のみとなります。再び TALK／MUTE を長押しし TALK オフとなれば、その他の機も TALK／MUTE を長押すと通話可能となります。

本機正面の TALK／MUTE は、押しながらの通話になります。

通話ボタン付のマイクについては、押しながらの通話になります。

PH モードの場合 ID10、PS モードの場合 ID09

傍聴のみとなります。

16. バッテリー残量

バッテリー残量は液晶画面右上に表示されます。

連続通話時間は、満充電からおよそ 8 時間です。

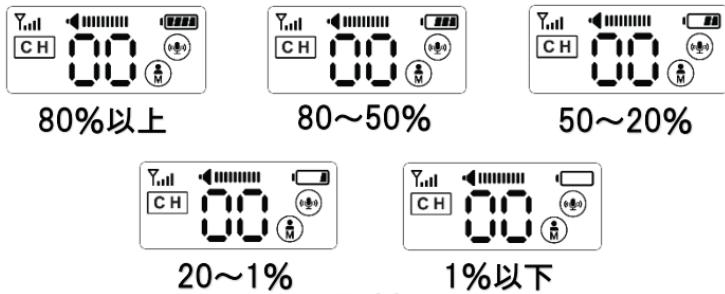


図 22

※ バッテリー残量が 1%以下(残り 7 分程度)になると、数分毎に
ブブブブとアラームがなります。

17. 充電

充電は、USB Type-C ジャックに USB 充電ケーブルを本機に直接接続し充電して下さい。充電中は充電 LED が赤く点灯し、充電が終了すると消灯します。バッテリーを使い切った状態から満充電までの時間は、およそ 2～3 時間です。

18. リセット - 初期化

UP/DOWN を押しながら電源ボタンと同時に長押しすると、液晶画面に図 21 が表示され電源がオフになり、すべての設定が出荷時の設定にリセットされます。



図 21

仕様

周波数	ISM 2.402～2.490GHz
電波形式	GFSK - FHSS
定格出力	10mW
受信感度	- 95dBm
音声CODEC	16bit/8KHz
チャンネル数	40チャンネル
動作時間	およそ8時間
電池容量	1100mA/DC3.7V 充電式リチウムイオン電池
サイズ	H69 x W100 x D32
重量	98g
防水性能	IPX4 ※1
動作温度範囲	- 10～+60°C
認証	工事設計認証020-210105、FCC、CE、RoHS

※1. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓がしっかりと閉まった状態にて

保証とアフターサービスについて

保証期間は、お買い上げ日から1年間(本体のみ)となります。

修理を依頼される際は、お買い求め頂いた先へご相談下さい。

品名：ブリッジコム X10 コンパクト

品番：BM-X10CP

株式会社ベアリッジ

お問い合わせサイト：<http://bearidge.com/>

電話：0569-89-7969

